

＜第6回 竜神地域会議 会議録＞

日 時 令和7年9月30日（火）

場 所 書面開催

出席者 委員16名

1 第5回竜神地域会議会議録の確認

2 令和8年度竜神地域課題解決事業事業化方針について

委員からの意見

- ・（継続）（新規）の項目が多くあり、実践実行できるか疑問です。
- ・交通安全危険箇所マップや防災ハンドブックは、作製・配布まではよいが、各世帯がどのように活用しているのか、どのように把握して評価するのか。作りました、配布しましたで終わっていないか。青色パトロールの当事者には何の連絡もない。危険箇所の情報があればパトロール時に活用できる。
- ・取組課題については、まちに住む人達が「良いまちになった」と実感できる活動を行うことだと思います。良いまちづくりの道具として交通安全活動を行うことだと思います。委員が行うこと、住民が行うことをまとめてみてはいかがですか。

3 令和8年度の高岡4地域合同地域課題解決事業取組案について（特に自主防災サポーター養成講座受講後の地域での活用について）

委員からの意見

- ・講座受講内容を踏まえ、竜神地区に絞って実践してもらう。
- ・【受講後の活動例】
 - ① 組長単位でのミニ活動の実施
各組で月1回ほど「5分防災タイム」を設け、家庭の備蓄確認や家具の固定、非常持出袋の点検など、小さな気づきと行動を共有できる場をつくる。
 - ② マイタイムライン作成の推進
災害時に慌てず行動できるよう、各家庭で「マイタイムライン」を作成。受講者がサポート役となり、記入の仕方や活用方法を案内する。高齢者世帯やひとり暮らしの方にも寄り添える形で実施する。
 - ③ 金具固定や危険箇所確認の演習
地域の集会や防災訓練の際に、家具転倒防止金具の実物体験や、ブロック塀などの危険箇所確認を行う。
体験を通した学びを取り入れることで、参加意欲の向上につなげる。
 - ④ 自主防災会との連携強化
サポートとして、自主防災会や区主催の訓練にスタッフとして参加し、避難所運営や安否確認など、支援体制の一部を担う。
 - ⑤ 防災を日常に取り入れる発信
掲示板や回覧板、LINEなどを活用し、月1回「防災ひとことメモ」を発信。“今日

できる備え”を伝えることで、防災意識を日常に根づかせる。

- ・いまだに、世界ラリー選手権と交通安全啓発が結びつくことに抵抗がある。
- ・青色パトロール活動を活性化させるために活動への参加者を増やすことが必要であると思う。そのためにも参加者に対しては何らかの支援が必要ではないか。

4 第11期地域会議委員の選考について

選考委員会のメンバー（案）については意見無し。

5 回答書の提出

回答書記入のうえ、10月6日（月）までに事務局へ提出。

★次回開催

10月28日(火) 午後6時00分～